

ふれあいネットワーク

社協 だより

じょうえつ

Contents

- 特集 地域福祉活動計画…②
- 住民福祉会リポート…⑤
- 平成29年度収支報告…⑥
- 善意の寄付に感謝を込めて ほか…⑦
- 地域でキラリ！ ほか…⑧

めぐりんからの一言！

ふ だんの
く らしを
し あわせに



上越市社協マスコット
キャラクター「めぐりん」

大島区にお住まいの内山ヨミさんです。
ご自身で精根込めて耕した畑で、野菜を収穫されています。
緑豊かなこの地域で、いつまでも元気に暮らし続けたいとおっしゃっています。

特集

暮らしやすい地域をみんなで作る

地域福祉活動計画



高齢化が進み、子どもが少なく、人口も減少している状況にあつて、「自分や家族が暮らすこの地域はどうなっていくのだろうか。」と気にかけている方は多いのではないだろうか。

暮らしやすい地域を

みんなで作るとは…

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、高齢者や子どもたちなど地域で暮らす全ての人々や組織、団体などが協力しながら支え合う仕組みづくり、様々な福祉（生活）の課題解決に向けて自ら取り組んでいくことが必要です。

たとえば、毎日元気に登校する子どもたちが、体の不自由なひとり暮らし高齢者のゴミ出しに協力したり、地域の高齢者が子育てで困っている若い母親の悩みごとを聞いて自分の経験を伝えるなど、それぞれが出来ることに取り組むことで、地域の暮らしやすさは変わってきます。

そのためには、「他人ごと」の意識ではなく、相手の立場になって考え、「自分ごと」として捉える意識が大切です。

ひとりの想いを地域の力で

自分と同じ地域に住む人がこんなに悩んだり、困っているのだから、同じ地域に住む

みんなを考え、話し合い、協力して「こう」というのが「地域福祉」です。

「地域福祉活動計画」は、こんな地域であつてほしいという地域の方々の「想い」や「考え」を実現していくために、地域の方々と住民組織、団体などのそれぞれの役割や、具体的な行動・活動を計画化するものです。

今年度、上越市社会福祉協議会は、地域の皆様の声をまとめながら、「地域福祉活動計画」を策定します。

今回の特集では、地域の方々の「想い」の一部を紹介します。

このような「一人ひとりの想い」が地域づくりにつながっていきます。

「地域福祉活動計画」のもと、みんなで暮らしやすい地域づくりに取り組んでいきましょう。



※「地域福祉活動計画」とは…

社会福祉協議会が呼びかけて、住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

地域力で「自分らしい生活」の後押しを…

吉川高等特別支援学校

地域の皆様には「働く場」を提供していただき、清掃活動や空き缶集めなどを通して、生徒の学習活動の後押しをしていただいています。

当校では、作業学習の接客サービス班の授業の一環として、「ハッピーカフェ」を開催し、吉川区のみならず、周辺区内にお住まいの方々をおもてなししています。

生徒たちは、普段の社会生活の中で不安を感じることが少なくありません。

たとえば、公共バスや電車の乗り降りなどでお金を支払う、分からないことを周囲の人に聞くなど、当たり前のようなことでも生徒たちは注意を払い、一生懸命なこともあります。

地域で生きていく上で、本人の心の不安や周囲が戸惑う場面が増えてきますので、そのような光景に出くわした時などには、地域ぐるみでの優しい声がけと、自立への一助となる「手助け」をぜひともお願いします。



「ハッピーカフェ」でお・も・て・な・し



資源回収・洗浄作業

中山間地域の

暮らしの中で想うこと

大島区 小林 美千子さん



大島区は高齢化とともに、一人住まいの方が増えています。

「子どもにはなるべく迷惑をかけたくないから、長年住み慣れたこの地での生活が一番」と言われます。

一人住まいの方の共通点は、「健康でいるのが何より」ということで、毎月一回開催される「いきいきサロン」を心待ちにし、仲間同士誘いあつてセンターにやつてきます。

つながりのある人間関係

標高三五〇余メートルある豪雪地帯、青空市場に山野菜を出荷し頑張っている方や、料理をつくって仲間を呼びお茶飲みされる方、日頃より人の出入りが絶えない茶処の家、お互いの安否確認など、人と人がしっかりとつながっています。

私自身も絵手紙がメインの「女だけの寺小屋」を続けて十一年になります。

「ワイワイ」の雑談から始まり、般若心経をお唱えし、書き上げ見せ合う笑顔の瞬間がまた楽しいものです。

この生活を続けていくために、冬期間だけ入れる共同施設があれば、山菜を採ったり、畑仕事をしながら、一生ここで暮らせるかも…。という夢が聞こえてきます。



誰もが地域に「自分の居場所」を…

認定NPO法人 マミーズ・ネット 青木 美由紀

県外から嫁いで妊娠・出産をした私にとって、子育ては「不安」と「孤独」だらけのスタートでした。

毎日アパートの一室で赤ちゃんを二人きり。頼る人はおるか、気軽に話す相手すら近くにいない。

「このままではだめだ、この状況をどうにかしなくちゃ！」と飛び出して出逢ったのが、マミーズ・ネットが運営している集いの場「子育て応援ひろばふう」でした。

「共に支え合う仲間」 になれました

何気ない話を聞いてもらえた、共感してもらえた、今の私を認めてもらえた。そんな小さなことが、「この街のどこにも私の居場所はない」と思っていた私の心を溶かしてくれました。

そして、ただ受け入れるだけでなく「あなたの力も貸してほしい」と巻き込んでくれたことも大きかったと思います。

「支援される人」ではなく「共に支え合う人」だと。それは「あなたも仲間だよ」と同義語だと思えたからです。

赤ちゃんだった息子たちも小学生になり、地域と関わる機会も次第に多くなりました。

願いを叶えるために

今の私の願いは、かつて私を救ってくれたような、誰もが「ここは自分のホームだ」と思える居場所がもっと地域に作られることです。

頑張つて探さなくても身近に、子育て世代だけでなく様々な世代の人と集える場があつて、互いに支え合える暮らしができれば…。

そのために何ができるのか、私も地域の担い手の一人として考えていきたいと思っています。



子育て応援ひろば ふう

地域懇談会を開催しています

6月から8月にかけて、5つの地区で地域懇談会を行っています。

地域の「主人公」である皆様が、自分が暮らす地域のいいところや、生活の中で感じている困りごとなどを共有しながら、地域の魅力や課題を改めて確認します。

そして、「暮らしやすい地域にしたいためにはどうすればいいか」「自分たちができることは何か」について話し合い、その内容を大切に計画化していきます。

地域懇談会の開催により、「地域福祉活動計画」は皆様の「思い」や「考え」によってつくられる計画となります。



中郷区の地域懇談会の様子

住民福祉社会レポート 平成29年度実践報告会

平成29年度～30年度の2年間をモデル期間として、地域で自主的な福祉活動に取り組んでいる「住民福祉社会モデル地区」から、平成29年度の実践報告会が6月16日⑤に市民プラザで行われました。

実施した事業の内容や効果、組織の運営体制や課題などが報告され、参加された約100名の方々が「住民福祉社会」の取組について考える良い機会になりました。

諏訪区住民福祉社会

石崎久義様(右)
内山松男様(左)



全世帯を対象に実施した「住民意識アンケート」では、住民の福祉に対する関心の高さや今後の住民福祉社会の取組に対する期待感がうかがえました。

アンケート調査の結果から、今年度は高齢者の買い物支援するため、月1回の買い物ツアーを実施します。

また、住民が気軽に困りごとなどを相談できる「福祉相談窓口」も身近な地区公民館に開設します。

福祉の学習会などは、住民の意識づけを含め、毎年継続して実施することが重要です。

・学び、協力し、行動することで、自信と誇りをもって暮らすことのできる郷土諏訪を目指し、住民福祉社会として福祉の取組を進めていきます。

平成30年度の新たな取組

●福祉相談窓口の設置 ●お買い物ツアー

中郷区住民福祉社会

竹内靖彦様(右)
村本亜紀子様(左)



福祉活動の充実を図るため、住民福祉社会の補助金を活用して「空き家相談士」や「整容介護コーディネーター」の資格を取得しました。

資格を活かした「空き家相談窓口」の設置により、不動産会社や行政書士などの関係機関と連携を図りながら空き家の相談に対応する体制ができました。

また、若い人の協力も得ながら、高齢者を対象としたメイクなどの「整容介護セミナー」を今年度開催する予定です。

「心に思う」「声に出す」「行動する」の3つがひとつになることが、地域づくりの大きなエネルギーとなります。

“やらなくてはいけない”という使命感からではなく、“地域で何かをして楽しみたい”という気持ちを大切に、今年度も様々な福祉活動に取り組んでいきます。

平成30年度の新たな取組

●福祉学習講演会 ●整容介護セミナー

名立区住民福祉社会

三浦元二様(右)
松本新一様(左)



事業展開としては、①自主事業、②以前に社協名立支所が実施していた事業の継続、③新規事業となっています。

「高齢者ふれあい交流会」などは、社協の事業見直しにより廃止となった事業ですが、地域の皆様の継続を希望する声を受け、住民福祉社会で引き継ぎ実施しています。

こうした声に応えるのも、住民福祉社会の役割であると思っています。

また、住民意向調査の実施により、外出支援といった新たな事業展開に向けてスターを切ることも出来ました。

課題は財源です。

自主財源を持っていないため、住民福祉社会の補助金や赤い羽根共同募金の助成金などに頼っている状況で、持続性のある住民福祉社会としていくためには、安定した財源の確保が不可欠であり、今後の検討が必要です。

平成30年度の新たな取組

●外出支援事業 ●福祉学習会



報告会の様子

参加者の感想

三郷まちづくり振興会 平田 伸一様

各地域の団体の人たちが一生懸命にされているなと思いました。運営の財源も、住民福祉社会の補助金だけでなく、赤い羽根共同募金や参加者の負担金などを組み合わせて有効活用されていることが分かりました。

そして社協の助言を受けながら、今ある自分たちの活動をさらに取り組んでいこうと、団体が主体的に行なっていると感じました。福祉は、暮らしで困っていることの解決や、生活を充実させていこうという、地域づくりの一つだと思います。

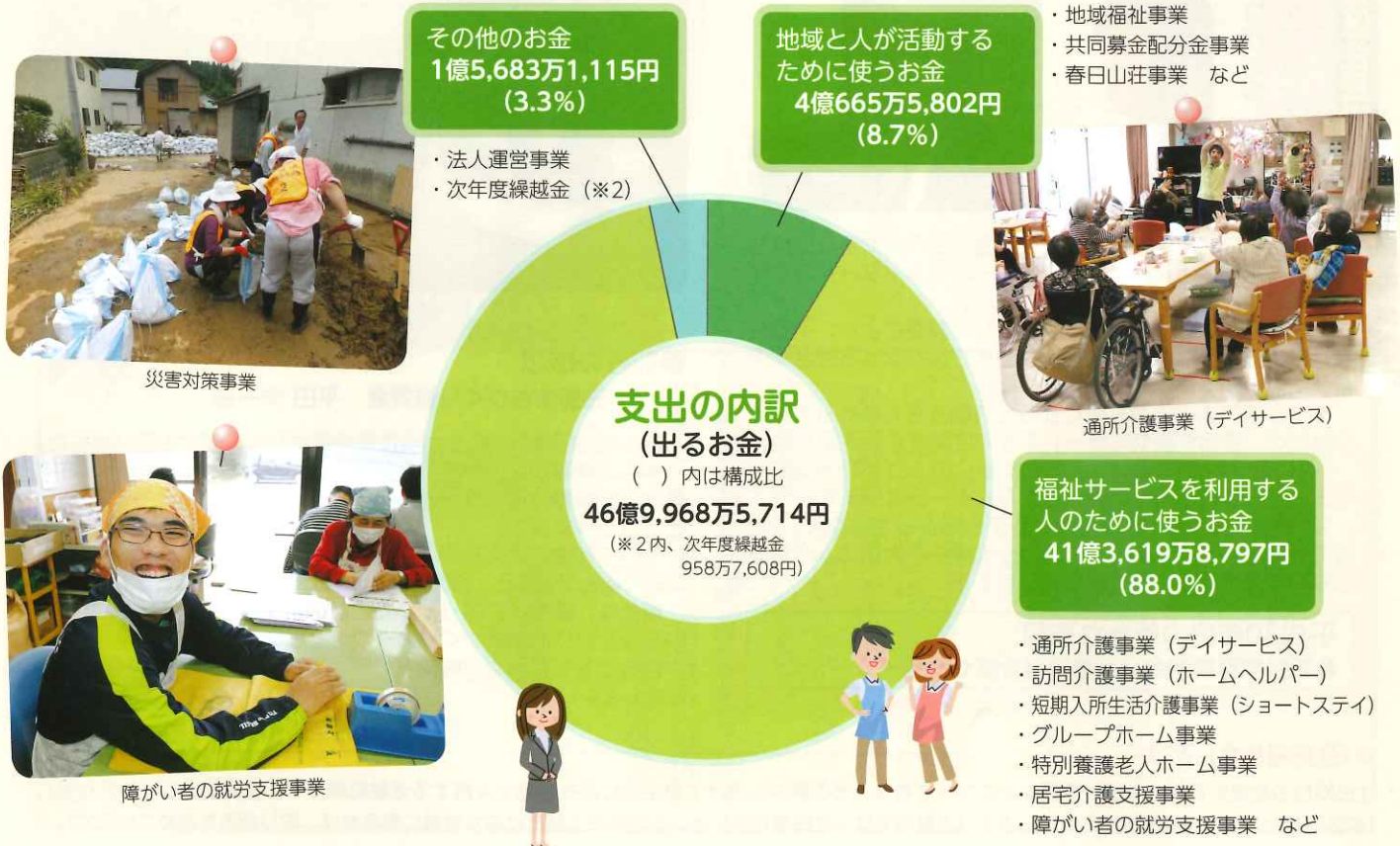
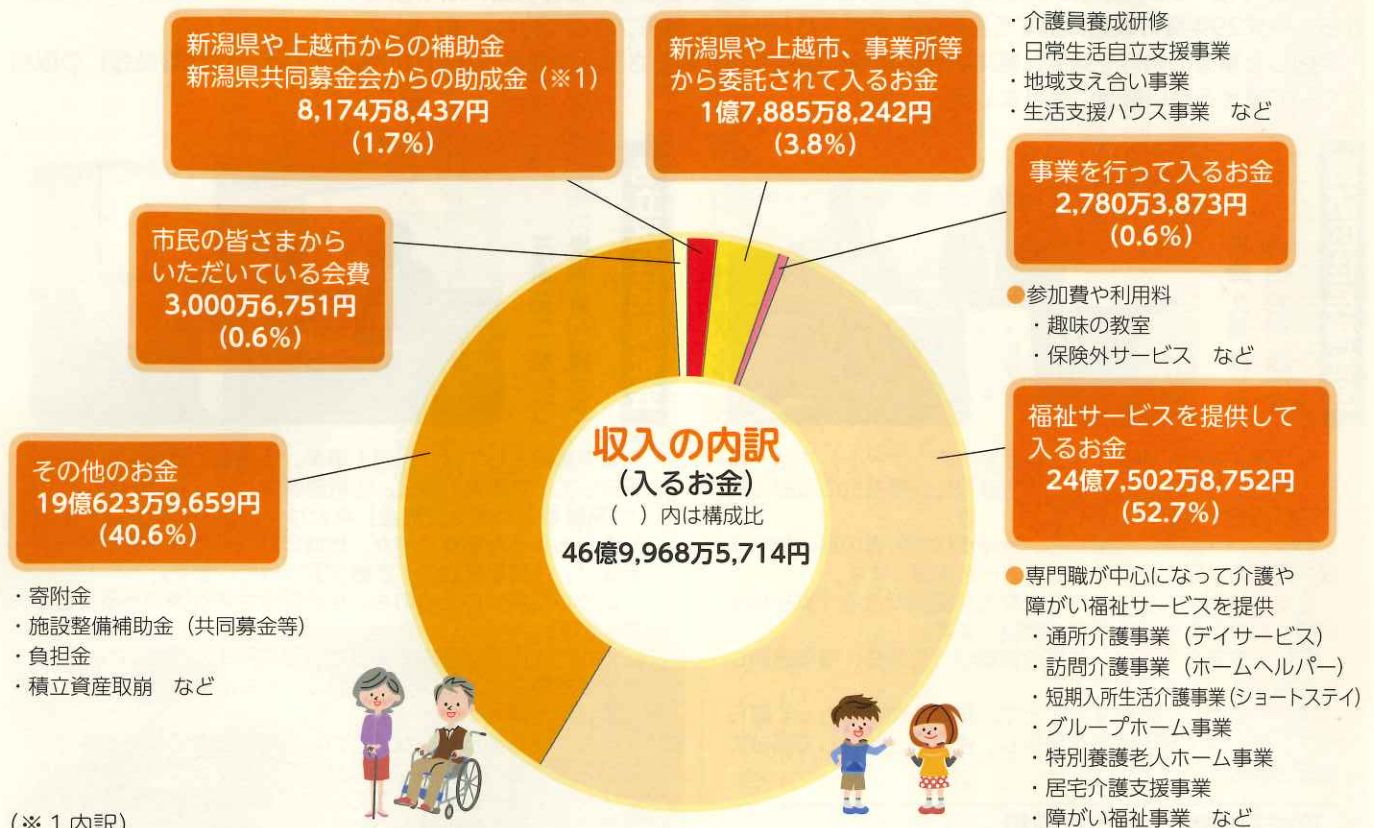
自分たちも社協や市の支援機関と連携して進めて行ければと感じました。

※「住民福祉社会」とは…

住民が自ら地域の福祉(生活)課題などについて考え、その解決に向けて自主的に福祉活動を実践する活動組織です。全国的にも「地区社協」、「校区福祉社会」等の名称で設置されています(上越市では「住民福祉社会」という名称で上越市社協が地域に働きかけ、取り組みを進めています)。

上越市社会福祉協議会 平成29年度収支報告

「共に生き 共につくる 福祉社会を目指して」



善意の寄付に感謝を込めて…

4月1日から5月31日まで

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆様からのご浄財を社会福祉に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。(寄付金額1万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略)



社会福祉事業のために

●本所

NOC新潟県お見合いセンター上越 支援資金
株式会社ユアテック上越営業所 支援資金
直江津ロータリークラブ 200,000円
信越化学労働組合直江津支部 30,000円

●安塚支所

八木勇二 支援金
匿名 30,000円

やすづか学園

後藤孝治、八木勇二、渋谷岩雄
横尾一男、笠間啓剛、山岸秀夫
山岸芳子、小出つる、大塚健一郎
有限会社金谷雄三薬局、山崎高美
伊米ヶ崎建設株式会社、専敬寺
池田勝良、日下部進、横瀬和夫
高橋士郎、田村雅彦、甕澤幸一
有限会社内山商会、白倉敏一、秋山正道 支援資金

●柿崎支所

上越カラオケ研究会(金谷) 17,287円

●清里支所

丸山宗雄(岡野町) 50,000円

●名立支所

原田秀作 50,000円
名立南部仏教会 20,000円

物 品

●本所

佐藤トミ、シヅ子 牛乳パック椅子多数
西條栄市 新品及び古タオル 多数
信越化学労働組合直江津支部
タオル約100本

センターデイサービス

太田智美 パット5袋、うす型パンツ1袋

春日山荘

長野道子(五智新町)
将棋盤・駒1セット、碁盤・碁石1セット

●安塚支所

やすらぎ荘

池田恒男 じゃがいも2箱

●柿崎支所

ふれんどり〜ミルはまなす

上越運送株式会社 リングブル1kg

●大潟支所

やすらぎの家

タキヤ理容所南雲義美 業務用洗剤2箱

●頸城支所

吉和会(上吉) 古タオル60枚
二葉会 古タオル42枚

●吉川支所

竹内実 支援物資
匿名 オムツ2袋、タオル53枚

いこいの里あさひ

六万部六寿会 タオル44枚

●三和支所

すいせんの里

百瀬勲 支援物資

使用済切手

上田税務会計事務所、吉和会、山岸キン子、安塚郵便局、直江津郵便局、(株)上越フルーツ、合同会社おひさまケアプラン、(有)内山商会、(一財)上越環境科学センター、大和ハウス工業(株)、(株)土木管理総合試験所、(有)渡辺工務店、第4地区民生委員児童委員協議会、小池孝、(有)第一セメント加工、(株)やまざき、吉越智秀、柿崎郵便局、上越運送(株)、西條栄市、直江津有田郵便局、第七地区民生委員児童委員連絡協議会、丸山勝、犀潟郵便局、(株)滝田、上越八幡郵便局、高田昭町郵便局、高田南城高校、清里診療所、菅原郵便局

障がい者グループホーム

柿崎区内で開設準備を進めます

今年度の主要事業のひとつに障がい者向けグループホームの整備があります。この度、柿崎第3区内に住宅を取得し、具体的な準備に取りかかりました。取得した住宅は、元民宿だったこともあり居室、厨房など機能性に優れています。今後、必要な改修工事を行うとともに、来春の開設に向けて準備を進めていきます。定員は5人の予定です。

グループホームは、障がい者が安心して暮らすことができる地域生活の場。地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。



ホームページが 新しくなりました!

7月1日から、当会のホームページが新しくなりました。

最新の情報をいち早く、分かりやすくお伝えし、いつでも気軽にご覧いただける内容を随時掲載していきます。



活動レポート 地域で キラリ!



会長 田村 勝栄さん

今回は清里区で活動している「星ふる清里会」をご紹介します。

「星ふる清里会」は、自由・平等・博愛の精神で清里区を元気にすることと、住みよい魅力ある地域づくりを推進することを目的に、田村勝栄さんを会長とした地元有志十一人で組織する、主に紙芝居を上演する活動をしている会です。昨年の四月に結成され「ふれ愛加美芝居（ふれあいかみしばい）」の名前で活動しています。

活動の第一弾として、清里区青柳の坊ヶ池に伝わる龍神伝説を題材にした紙芝居「龍神の子ども坊太郎」を作りました。文章は会で編集し、イラストも会のスタッフが描きました。また、紙芝居の枠や会場背景を伝説にちなんだデザインにしたり、お面をつけて語るなど全部が手作りの作品です。

昨年は小学校や町内会などで十六回の上演をしました。高齢者にとっては生きがい作り、子どもにとっては郷土の歴史を学ぶ事ができる機会だと思います。紙

芝居を上演したことにより高齢者や子どもたちの交流が生まれ地域との関わりが良好になりました。また、住民の方から新しい提案、アイデアが寄せられるようになり、今は第二弾の企画も進行中です。八月には完成する予定で、今後は他の地域での上演も考えています。

更に、地域の皆さんが地元清里の歴史を知り、誇りを持つてもらえるよう歴史散策講座なども開催したいと考えています。

今後他の地域や団体とも積極的に交流し、活動範囲を広げたいと思います。



福祉講演会（頸城支所）

日常の介護する中で感じていることや、高齢社会のことについて一緒に考えましょう。

- 日 時：8月26日⑩
※開場 午後1時
開演 午後1時30分
- 場 所：ユートピアくびき希望館
多目的ホール
- 講 師：女優 松島 トモ子 様
- 内 容：「96歳の母と暮らして」
～母と2人で暮らす日々、
いま私が思うこと～



- 入場料：無料
- 問合先：頸城支所 ☎025-530-4361

権利擁護推進事業 自分らしく生きるための権利擁護講座 ～出前講座のご案内～

町内会や施設、企業などへお伺いし権利を守るための制度などについて説明します。気軽にお声がけください。

- 申込方法：市内在住またはお勤めの方で5名以上のグループでお申し込みください。
- 場 所：市内の会場を、申込者ご自身でご用意ください。
(会場が用意できない場合はご相談ください。)
- 利用時間：平日午前9時～午後5時までの1時間～1時間半程度
- 費 用：講師派遣料は無料（会場の使用料等は申込者負担）
- そ の 他：開催希望日の1カ月前までにご連絡ください。
- 問 合 先：地域福祉課 権利擁護・生活支援係
☎025-521-1212
FAX025-526-1230



皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。
【連絡先】上越市社会福祉協議会 総務課 ☎ 025-526-1515・FAX 025-526-1230 Eメール jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp